

## むらゆたか 豆腐加工適性に優れた多収良質品種。

### 1 加工適性

#### (1) 加工上の長所・短所

「フクユタカ」に放射線を照射して突然変異を誘発することにより白目とした良質多収品種です。「フクユタカ」と同様に高タンパクで豆腐は白く食味も良好です。白目なので煮豆原料としても利用可能です。

#### (2) 品質に関するデータ(平成11～14年の平均 育成地7月播種)

項目	むらゆたか	フクユタカ
粒大	中の大	中の大
百粒重(g)	26.5	26.8
へその色	黄	淡褐
成分組成		
粗蛋白質含有率(%)	41.5	43.5
粗脂肪含有率(%)	20.9	20.2

注) 成分組成については平成9年九州農業試験場産の収穫物を分析。  
タンパク質と脂質はそれぞれケルダール、ソックスレー分析法による。  
タンパク質含有率は子実の窒素含有率に6.25を乗じて算出。

#### (3) 九州農業試験場における豆腐加工適性試験成績

項目	むらゆたか	トヨシロメ
吸水率(%)	114.1	137.5
豆乳収量(g)	262.6	256.4
豆腐破断強度(g/cm <sup>2</sup> )	88.3	89.0

注) 平成9年九州農業試験場産を使用。

6倍加水の豆乳(原料50g)を作成し、凝固剤にはGDL0.4%を使用。

## 2 栽培特性

### (1) 栽培上の長所・短所

九州地方では最も多収の良質品種であり、草姿良く倒伏にも強いので密植栽培にも適応できます。しかし、早播きの場合の耐倒伏性は「中」程度となります。

### (2) 栽培特性に関する育成場所での試験結果

項 目	むらゆたか	フクユタカ
収量*(kg/10a)	286	287
早晚性	晩の早	晩の早
コンバイン収穫適性		
裂莢性	中	中
耐倒伏性	強	強
最下着莢高	中	中
病害発生程度		
ウイルス病	無	無
葉焼病	無	無

\*平成11～14年度佐賀県奨励品種決定調査結果。

他は、昭和62年～平成元年度の試験成績に基づく。

## 3 栽培地域（平成21年産）

佐賀県 1,300ha    大分県 994ha

## 4 栽培上の留意点

慣行より早播きの場合は、栽植密度を低く押さえたり摘心するなどして倒伏を押さえ、着莢の低下を押さえる必要があります。また、肥沃な水田転換畑での早播きは無施肥でも栽培できます。ネコブセンチュウには弱いので、同じ畑での連作、水田転換畑においても3年以上の連作は避けて下さい。子実の白目特性を維持するため、種子の更新に心がけて下さい。

育成場所：佐賀県農業試験研究センター（平成2年育成） 問い合わせ先：佐賀県農業試験場 水稻研究室 tel 0952-45-2141 fax 0952-45-8801
--